

美ら海の恵みを子や孫に伝え守るふるさとづくり (平成24年度認定)



海洋調査研究会は、「沖縄の海をこよなく愛する」「海岸周辺の清掃活動をする」「海洋の資源調査」を実施することを目的に、平成13年10月に設立された。本会は、海岸の清掃やマングローブ植栽の活動を通じて、会員と漁民を中心とした地元住民や子ども達との交流を深めている。

また、海岸に漂着する流木やウキ等を利用した作品を募集し展示する「漂着物アートコンクール」は、夏休みの子どもたちの宿題にもうってつけで、毎年ユニークな作品の応募が多数あり盛況である。海の日に開催する「海藻おしぼ教室」も子どもたちから人気があり好評である。また、宮古島に伝わる伝統漁法の調査研究活動として、昭和53年のチリ地震による津波によって壊れた魚垣（ながき）の修復にも取り組んでいる。

このように、本会の多種多様な活動は宮古島の自然環境保全と漁業振興に貢献しているとともに、イベントや活動を通じて地域内外の交流に大いに寄与している等、【美ら海の恵みを子や孫に伝え守るふるさとづくり】に取り組んでいる。



海岸の清掃



マングローブ植栽



海藻おしぼ教室



漂着物アートコンクール 作品・表彰者



漂着物アートコンクール 作品・表彰者



漂着物アートコンクール 作品・表彰者